

うるくの コネタ

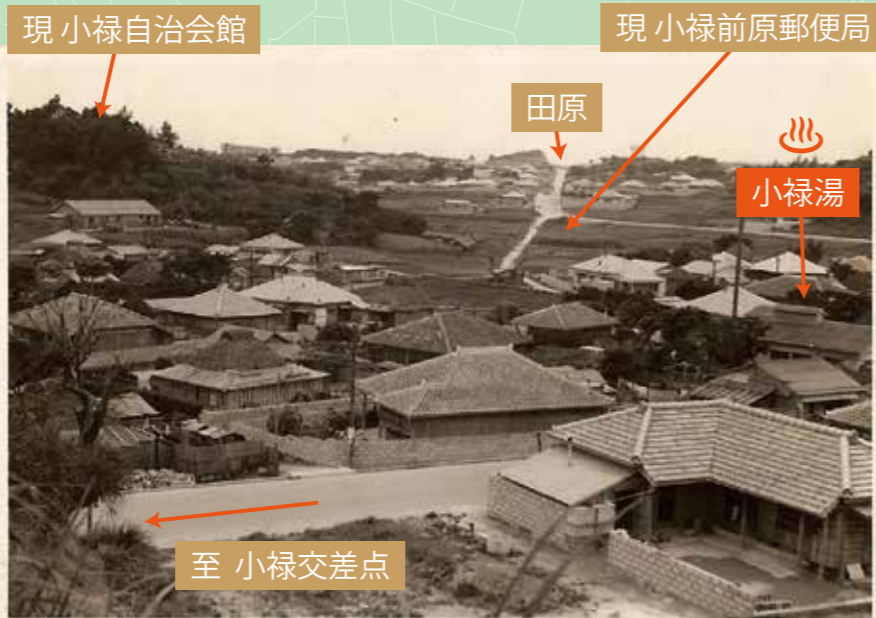
ローカルなコネタ、
歴史ネタなどをご紹介



昔は『ゆーふるやー(銭湯)』が あったってよ〜(小禄湯跡)

かつて最盛期には県内に300軒を超える『ゆーふるやー(銭湯)』があったそうですが(そのほとんどが那覇市内)、うるくにも小禄交差点から田原方面へ抜ける通り沿いに、『小禄湯』という『ゆーふるやー(銭湯)』があったそうです。その跡地は現在、(有)丸徳ガス産業さんの駐車場として使用されていますが、今でもよく見るとタイルの跡や浴槽跡と思われる痕跡が残っています。2種類のタイルが確認でき、それぞれ男湯・女湯だったのではないのでしょうか。

「経営者は、亡き高良茂さん(1922年3月生)私達、武富門中(だきどんむんちゅう)の大先輩で屋号は、前又東城田(めーぬあがりくしくだ)です。」情報提供:高良 広輝さん



小禄湯跡:現(有)丸徳ガス産業さん駐車場

写真提供:上原浩一さん(屋号:東前松川小)



編集後記

はじめまして!
『うるくローカルプレス』
です。

うるく地域(小禄、宇小禄、宇栄原、田原、金城あたり)のローカル情報発信局として、free paperやSNSなどを通じて様々なうるくの情報をお届けしていきます!
記念すべき創刊号はスイーツ特集として、沢山の素敵なお店の皆さんにご協力いただきました。ありがとうございました!

コロナ禍の中ではありますが、スイーツで少しでもリラックスしたり、ほっこり幸せな時間を過ごしていただければと思います。こんな時だからこそ、地元で、うるくで、繋がって、『うるくまーる』(うるくを"まわる" "ゆいまーる"の気持ち)で頑張っていきたいと思います!

募集

取材に来てほしい
お店・人・会社・団体の皆さん

ご連絡ください!
ネタ情報もぜひ!

うるくローカルプレスでは、取材先を募集しています!取材に来てほしい!という方、お店や会社、団体の皆さん、ぜひご連絡ください!うるくに関するネタもお待ちしています!ぜひお気軽にご連絡ください!

うるくの昔の写真ありませんか?



お待ちしております!

昔のうるく地域の写真をお持ちの方いらっしゃいませんか?戦前、戦後以降など人物、建物、風景などどんな写真でも構いません。うるくの昔と今を知りきっかけとして、本紙でご紹介したり、アーカイブとして残していければと思っています。ご両親、ご親戚の方などにも尋ねてみてください!



うるくローカルプレスの「小禄(うるく)」は、【小禄、宇小禄、宇栄原、田原、金城あたり】としています。

URUKU LOCAL PRESS
うるくローカルプレス

お問合せ&窓口

uruku@daikyo-k.net

各SNSからのメッセージもOK!



Facebook



twitter



instagram



youtube

うるくの情報発信局
『うるくローカルプレス』

編集部:那覇市金城5-13-5 2F
運営:大鏡建設株式会社(那覇市宇小禄912-1)

人とまのちの、
未来をつくる。

大鏡建設
DAIKYO CONSTRUCTION

URUKU LOCAL PRESS

うるくローカルプレス

うるくのローカルな情報をお届け!

2020年9月
創刊号



無料 TAKE FREE

うるくで幸せ

スイーツめぐり。

うるくで幸せ

スイーツめぐり。

新旧実力派の スイーツの名店がずらり

創業40年以上、2代目3代目と引き継がれる老舗店から、沖縄県内はもとより観光客にも人気のお店など、うるくエリアには新旧実力派のスイーツの名店が揃っています。スイーツってお祝いなど「幸せな時間」のそばにいつも存在しますよね。家族みんなで集まる時に欠かせない味、大切な人へ贈る時に選ぶ味、自分へのご褒美に選ぶ味…。そんな様々なシーンで愛されるスイーツの名店をめぐってみました。ほら、うるくには幸せスイーツがいっぱいでしょ？



Grand Jete (グランジュテ) / 安心して食べれる、 ふわっふわの無添加 シフォンケーキ

無添加シフォンケーキと焼き菓子のお店
Grand Jete(グランジュテ)
☎ 080-7980-2477
📍 那覇市宇栄原1008(1-D)
🕒 12:00~18:00
🌞 日曜、月曜、第1火曜 🈺 あり
🌐 grandjete.2012 📷 grandjete.2012



宇栄原出身のオーナー・加藤さんが2019年6月にオープンした無添加シフォンケーキやシフォンサンドなどの焼き菓子のお店。「安心して食べてほしい」との想いから無添加にこだわり、南城市大里のEM有精卵や沖縄・奄美産のきび糖など使う素材にもこだわっているそう。1番人気の『シフォンケーキ(各205円・税込)』は、バナナやココアチョコチップ、紅茶や抹茶あずきなどの他、季節限定シフォンも。その他、ちょっとした手土産にもおすすめの『生チョコブラウニー(162円・税込)』。手頃なサイズと濃厚なのに食べやすく、グルテンフリーというのも嬉しい!

地元の方へメッセージ
「美味しいお菓子を作ってお待ちしております」

うるくのココが好き!
「便利」「住みやすい」どころ、都会すぎず田舎すぎず、「ほどよい」感じも◎



オーナーの加藤さん(右)とスタッフのトモエさん

ハッピー洋菓子店 /



いつでも毎日、気軽にケーキを食べられる幸せをお届けしたい。常にお客さんが並ぶ、1975年創業の老舗店。1番人気のアップルパイ(700円・税込)は「専門班が常に焼いています。」と2代目の大城さん。アメリカンタイプの生地じっくり煮込んだリンゴのフィリングでサクッとトロッとサービスでカットもしてくれるそうで手土産にも◎コロネ(135円・税込)をはじめ他のケーキも200円前後という価格は「先代の小さなお子様からご年配の方まで毎日食べられる・気軽に買いにこれる美味しいケーキを」という想いを引き継いでいます。」と大城さん。今日もお客様のもとへ沢山の「ハッピー」が届いています。



2代目の大城美紀さん

地元の方へメッセージ
「感謝!」です。長くやらせていただいているも地元の皆様のおかげです。今のスタイルを変えずに、変わらず愛されるよう頑張っています!

うるくのココが好き!
都会すぎず、住みやすいところ。道も車でも走りやすいです(笑)

ハッピー洋菓子店
☎ 098-857-4781
📍 那覇市小禄5-13-7 シヤトレ南1F
🕒 10:00~19:30 🌞 日曜、月曜 🈺 あり

オハコルテ /



「直径7cm」に「美味しい幸せ」を込めて。新鮮な旬のフルーツたっぷりのタルト専門店。色とりどりのタルトは全て直径7cm。「直径7cmにしたのは、水分の多いフルーツをのせても最後までサクサクとした食感を楽しんでいただくためなんです。」と店長のイケダさん。見た目の可愛さと共に、この7cmに美味しさへのこだわりが詰まっています。常時12~13種類のタルトが並び、今後は県内農家さんのフルーツを使用した商品開発もするそう。その他『しあわせはこぶとりサブレ』などをお洒落なボックスに入れた内祝いギフトも人気!
★毎月18日は『オハコの日』★新しいタルトがお披露目される日だそう!



スタッフの金城さん(左)と塚さん

地元の方へメッセージ
「小禄店は2012年開店から8年間、地元の皆様に支えられてきました。贈る人も贈られる人も嬉しいものをご提案していきたいながら、地元にも感謝していきたいです!」

うるくのココが好き!
「昔からあるモノ(人)」と「新しいモノ(人・移住者)」が織り交じっていて、それが新しいまちになっているところ。空気が近いなど利便性に優れているところもいいます。

フルーツタルト専門店 (ohacorte) オハコルテ 小禄店
☎ 098-851-3215 📍 沖縄県那覇市赤嶺1丁目4-1
🕒 11:00~19:00 🌞 無し 🈺 あり
🌐 ohacorte.com 📍 7cmtarte 📷 ohacorte 📷 ohacorte

チーズケーキセラ / 小禄ラボ店 /



チーズケーキと言えばココ! 自分ご褒美に、お祝い事にも! 県内初のチーズケーキ専門店として県内6店舗、小禄ラボ店は地元のお客様が多いお店です。看板商品は「マンハッタン」の恋 ニューヨークチーズケーキ(410円・税込)。デンマーク産クリームチーズを使い、表面はパリッと中はクリーミーでなめらか! 小禄ラボ店限定『ザツハトルテのチーズケーキ』はホワイトチョコのチーズケーキにスイートチョコでコーティングした濃厚で大人な味。「地元に馴染むケーキ屋に。」がモットーで「お祝い事の際にチーズケーキで喜んでいただける存在になれば…」(野間さん)★毎日午前中は日替わりケーキがお得に楽しめるそうです!



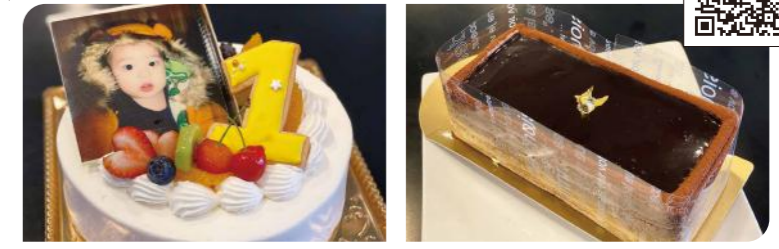
野間裕美さん(菓子製造事業責任者)

地元の方へメッセージ
小禄ラボ店限定商品や季節限定商品も置いてありますので、手土産など日常使いとして利用いただければと思います。チーズケーキ1個、クッキー1枚でも全然大丈夫ですよ!

うるくのココが好き!
空港が近く、モレール駅もあるなど交通の便が良いところ。買い物も便利ですし、落ち着いて住みやすいと思います。

プーゾチーズケーキセラ-小禄ラボ店
☎ 098-857-4680 📍 那覇市宇栄原1-15-1
🕒 10:00~20:30 🌞 不定休 🈺 あり
🌐 puzo.jp 📷 puzoconfectionery
📷 puzoconfectionery 📷 puzoconfectionery

みやぎ菓子店 /



創業48年。「変わらない味」と「新しい味」で愛される手作りケーキ 母の悦子さんと娘で3代目の葵さんで営む手作りケーキのお店。2代目から引き継ぐチョコレートケーキ『グロリエッタ(950円・税込)』、手土産に人気の『レモンケーキ(130円・税込)』や『夏ティミス(270円・税込)』など、先代からの「変わらない味」と3代目の「新しい味」が永く愛されている秘密。長く通ってくださっているお客さんに「変わらないねー」と言われるのが一番嬉しいそうです。
★誕生日など記念日に! プリントケーキ★好きな写真やキャラクターをホワイトチョコにプリント。ケーキにのせてお祝いです! 10cm×10cmで400円。



宮城悦子さん(左)と娘の澤沢葵さん(3代目)

地元の方へメッセージ
「3代目、これからも愛される美味しいお菓子作りを頑張っていますのでよろしくお願いいたします!」

うるくのココが好き!
隣近所の人(顔)が分かるところ。「OOさん、元気ね?」などと気軽に話ができる。

みやぎ菓子店
☎ 098-857-4197 📍 那覇市小禄870-1
🕒 10:00~20:00 🌞 水曜 🈺 あり
🌐 patisserie-miyagi.com

うるくんちゅの 輪

うるくで暮らす・活動している様々なヒトをご紹介します!

第一 うるくんちゅ うるくの情報! 高良さんに聞け!

高良 広輝(たからひろき)さん
字小禄出身。たからネット代表。『うるくニッポン放送』運営。小禄地域振興会役員。うるくの歴史と文化を語る会幹事他数多くの小禄地域に関する活動をしている。うるくの情報通。屋号は「東新城田」。

超ローカルなホームページ 098oroku.net
うるくニッポン放送 098oroku.com

記念すべきお1人めはやはりこの方・高良広輝さん! 『うるくニッポン放送』ではお店の開店閉店情報から不発弾処理、区画整理・工事情報、古写真の紹介などなどうるくに関するあらゆる情報を2000年から発信し続けています。きっかけは「ネットが普及し始めて検索する機会が増えたけどうるくの情報が全然無いなーと思って。」元々カメラ好きで地域の綱引きや学校行事の撮影などもしていたこともあり、そうした地域の写真を撮って発信し始めたんだそう。

これまで20年間の情報の蓄積から「うるくの情報」を検索すると、自分の記事が出てきちゃうんです笑! というほど。その情報源はどこから? と尋ねると「自治会長でもないのに自治会の会合に呼ばれたり、いろんなイベントに呼ばれるんです笑」。まさに『うるくの情報通』ですね!
そして今年選暦を迎えた高良さんは今、夢に向かって奮闘中なんです。『FMうるく』の開局に向けて準備しています(2021年4月開局予定)。実は『うるく

ニッポン放送』に「放送」と付けたのは将来放送局を作りたいという想いからだったんですが、今回、開局の手伝いをしてほしいと声をかけてもらった時は本当に嬉しくて、でーじうるくしましたよ! と目を輝かせて話す高良さん。「子ども〜大人・年配の方まで同じように楽しめて、観光名所になるようなFM局にしたいですね」。Webの情報発信からFM局へと、高良さんのうるく愛、情熱はまだまだまだ続きます! 『FMうるく』の開局、楽しみにしていますね!

うるくの魅力・ココが好き!

小禄地域には、那覇空港がありモレールが通り、教育・福祉・医療・生活居住施設などが揃い人気の住みたい地域として魅力があり、また、昔の風情を残した12カ字などの癒し空間が好きです。

輪をつなぎます!

高良さんから次の方へ 次は誰だ!